



校長室だより

黒部市立荻生小学校
文責：校長 寺島紀子
令和4年7月8日
第14号

苦しいときこそ、前向きに、プラス思考で・・・

先週末から本校に感染症の第2波が一気にやってきました。皆様方には多大なるご心配をおかけしています。校長として大変心苦しく思っております。

現在、関係している学年の児童とその兄弟姉妹の児童が数名、感染または感染予防のための経過観察や自宅待機となっています。いずれのお子さんも今週の初めから登校はしていません。また、朝の健康観察等で喉の痛みや違和感を少しでも訴えた場合は家庭連絡をし、早退の措置をとっています。各ご家庭と保護者の皆様のご協力のお陰で、今週に入ってからの学校生活の原因とみられる感染拡大は今のところぎりぎり抑えられています。

正直言うと、こういうときに校長室だよりを出すには少しためらいがありました。しかし、学校の現状と保護者の皆様への感謝の気持ちを率直にお伝えするために思い切って今週も出すことにしました。

今日も校内を回ると、元気に学校生活を送っている子供たちにたくさん出会います。登校できない子供たちとはオンライン授業でつながれるよう、また各ご家庭への電話連絡や届け物の配布等、教職員で協力・連携し合って何とか対応しています。今回、本校の職員室チームの前向きな姿勢とチームワークの素晴らしさを再確認できたのは嬉しいことでした。来週の前半頃まで辛抱の時期が続くようですが、こんなときこそせめて気持ちは前向きに、そしてプラス思考と笑顔を手がけ、乗り切っていきたいと思っています。

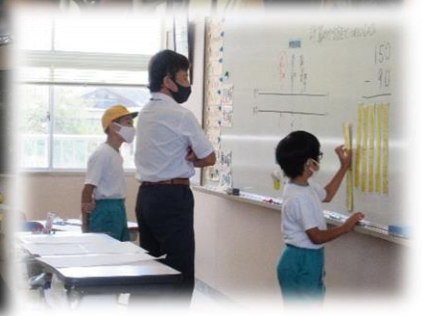
6/29(水)学校訪問研修会

年1回の大きな研修会を、今年度は6月末のこの日に行いました。富山県東部教育事務所、黒部市教育委員会及び市教育センターから多数のお客様が本校の学校運営と教育活動の様子を観ていかれました。授業をする教員にとっても、また、よく知らない人たちに自分のすぐ近くからノートをのぞき込まれたり何やらメモを取られたりする子供たちにとっても、緊張感のある日だったことと思います。その分、いつも以上によく頑張っただけで学習に取り組んでいる姿が多々見られました。

特に今年度は本校が音楽科の研究に取り組んでいることから、3つの学年で音楽の授業を行いました。午後、子供たちの下校後に行った研修では、県教委の指導主事の先生から、「子供たちの思いを高めるための工夫がよくなされていた」「学習の振り返りの方法がよかった」「記録を残し何回も聴き直すためにICTをもっと活用するとよい」といった助言をいただきました。

また、子供の思いを大切にする本校の授業研究全体への貴重な助言と励ましもいただきました。これからの研究に向けての大きな力となりました。

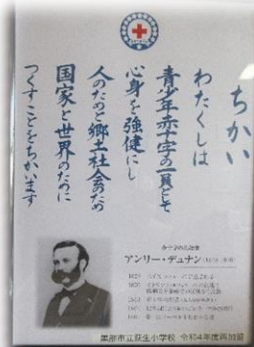
★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。



JRC(青少年赤十字)に再加盟しました

今年度から菟生小学校児童会は、青少年赤十字に再加盟しました。過去にも数年間加盟していた時期があったそうですが、今回久しぶりの活動再開ということで、改めて日本赤十字社富山県支部から旗や「ちかい」の額が届きました。

青少年赤十字 (Junior Red Cross : JRC) は、「気づき、考え、実行する」を態度目標として、自分たちの実態に合った活動を工夫して実践していけばいいことになっています。日頃の児童会活動の延長として、よいと思ったことに取り組んでもらいたいということ、6年生の計画委員会の子たちに校長としてお願いしました。自分たちの気付きを大切に、楽しみながら、菟っ子児童会らしい活動が行われることを期待しています。



シリーズ「教室におじゃまします」6/30(木)3年外国語活動の巻

授業が始まる前から、ALTのジャック先生が数人の子供たちと楽しくコミュニケーションをとっていました。こういう光景、いいですね～！

この日は「好きな○○をたずねよう、答えよう」の活動でした。まずは色についてのQ&Aです。

“Do you like orange?” “No, I like blue.”といった会話を耳だけで聞きながら、教科書に印や線を書き込んでいきます。色の英単語は日常的にも聞き覚えがあるからか、どの子も簡単そうに答えを書き込んでいました。先生の英語が聞き取りやすいのもうれしいです。

“Close your textbook. Put in your desk.”といった指示のための英文も、ジャック先生は英語だけで話しかけます。子供たちは慣れた様子で教科書を閉じ、机の中にしまいました。次はJAT(指導助手)の平野智恵先生とジャック先生が食べ物のカードを手それぞれに英単語の学習です。その後英語専科の朝倉真樹子先生が入り、“Do you Like～”の会話に移ります。

最初は誰もが好きそうなケーキやハンバーガー、スパゲッティといったカードばかりでしたが、そのうち納豆やサラダなど、好き嫌いが分かれそうなものも挙がりました。その後、子供たちも順に前に出てきて“Do you Like～?”

“Yes, I do.” “No, I don't.”とクイズ形式で英会話の練習が何回も繰り返されました。

あの子はこれが好きそうだ、いや嫌いそうだと予想を立てながら会話に注目するので授業が自然と盛り上がります。3人の先生のチームワークがよく、子供たちが楽しみながら英語表現に親しんでいるのがよかったです。



★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。